

## 韓国の学院での教育とは

－韓国の学院の先生方を日光に御案内して－

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 11 月 27 日(木)と 28 日(金)に韓国の学習塾・予備校の代表の先生方が東京都と栃木県にいらっしゃって、視察および研修をなさいました。今日はそのお話を少しさせていただきます。
3. 韓国では、日本の学習塾・予備校にあたることを学院といいます。その学院が、日本と同じように、あるいは日本よりもはるかに盛んに学校外での教育を行っています。学院の教育で一番熱心なのは、大学入試対策です。韓国では高校生の約 90%の方が大学進学を目指すため、高等学校で勉強する以外に学院でも非常に熱心に勉強しています。どのくらい熱心に勉強するのかといいますと、ほぼ毎日、学校が終わってから寝るまでの多くの時間を学院で勉強しています。また、朝起きてから学校に行くまでの時間も学院で勉強しています。もちろん土曜日でも日曜日でもずっと学院で勉強しています。あまりにも長時間、熱心に学院で勉強しすぎるので社会問題になっているくらい勉強しているそうです。
4. 別の言い方をすれば、韓国のお父さんやお母さんは一家の収入の 3 分の 2 ぐらいを学校および民間教育である学院の学費に費やさなければいけないということで社会問題になっている。そのくらい、韓国の保護者は高校生の教育に熱心です。その学院の理事長先生をはじめ、非常に盛んに行っている学院の代表の方々が先週の木曜日に東京にいらっしゃいました。そして、金曜日には栃木県の日光を視察されました。
5. なぜ韓国では学院が始まったのかといいますと、それは日本の学習塾・予備校と交流し、日本を参考にしたためと思われれます。日本の保護者も教育熱心ですが、韓国の保護者は日本の保護者に輪を掛けたくらい教育熱心であるため、学院での教育が今日のような状態になってしまったということです。
6. ところで、放送をお聴きの皆さんもよく御存知かもしれませんが、日本の高校生は家庭学習をあまりしませんね。ある統計によりますと、家庭で 2 時間以上学習する高校生は高校生全体の 2 割しかいないそうです。高校卒業後は 8 割近くの方々が大学・短大・専門学校等の高等教育機関に進学なさるにもかかわらず、学校以外で 2 時間以上勉強する方は高校生のうちの約 2 割しかいないといわれています。そこで問題としてでてくるのが、大学・短大・専門学校に進学した学生の学力不足問題です。高校であまり勉強しないで高校よりもはるかに難しい内容を教育する大学・短大・専門

学校に進むのですから、勉強は当然追いつきません。学力不足のまま行ってしまうことが大問題になっているのです。

7. かたや韓国では、9割以上の方が大学に進学したくて寝る間を惜しんで勉強しています。ですから、「韓国では2時間以上勉強する方はどのくらいいるのですか」とお聞きすると、「なぜそのようなことを聞くのか。韓国では2時間以内しか勉強しない高校生はほとんど見かけない。小学生でも2時間以上は毎日勉強している」という答えが返ってきます。日本と韓国とでは、高校生の勉強に対する熱心さがそのくらい違うのです。
8. 先月、この番組でも元韓国外務大臣の潘基文(バン・ギムン)さんが国際連合事務総長に就任されたことを紹介しました。潘基文さんは「努力の証」という本を書かれまして、私も非常に感銘深く読みました。潘さんもやはり高校生のときは民間教育の学院というところで熱心に勉強なさったということをお聞きし、韓国の学院は非常に役に立っているのだなあとと思いました。
9. せっかくですので、韓国からいらっしゃった皆様に日光を見学していただきたいと思い、お連れしました。私がコースとしていいなと思ったのは、まず「湯の湖」を見ていただき、それから「湯滝」を見学して、「竜頭の滝」、「華巖の滝」と下っていただく「滝廻りのコース」です。これは本当に喜ばれました。「中禅寺湖」もすばらしく、日本で、そして世界で一番綺麗な湖ではないかと高い評価を得ました。そのあと、日光の「金谷ホテル」で昼食をとり、ガイドさんに連れられて「日光東照宮」を見学していただきました。これも非常に喜ばれました。日光を見学する場合は、このコースはなかなかいいと思いますよ。まず湯の湖を散策し、そのあと湯滝を見学し、下ってきて竜頭の滝、中禅寺湖を見学して華巖の滝に行き、いろは坂を下りてきて昼食をとり、最後に日光東照宮を見学していただく。これは、私が今までいろいろな方をお連れして一番喜ばれるコースです。当日は、その間に「日帰り温泉」にも入っていただきました。
10. さらに、今市市に「朝鮮通信使」の史跡がありますので、せっかくですのでその碑を見学していただきました。この施設をつくられた小平ユネスコ協会の野崎さんにもわざわざ来ていただき、御説明していただきました。
11. また、開倫塾も見学したいということでしたので、開倫塾の鹿沼東校に行っていただきました。鹿沼東校にはとても熱心に教育をなさる渡辺裕子校長がおられますので、渡辺先生のお話を聴いていただき、帰路についていただきました。満足度100%ということでお楽しみいただきました。このような形で日本と韓国の学習塾・予備校の先生方が交流を深めながら、どうやったら子どもたちによい教育ができるかを考えている次第です。
12. 先週の木曜日と金曜日に韓国の予備校・学習塾である「学院」の代表の方がお見えになりましたので、今日はそのお話をさせていただきました。